

総合的な学習の時間 事例Ⅰ



題材名 富士川舟運をさぐる

第6学年

Ⅰ 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分の興味・関心を基に学習課題を発見し、課題を設定している。 ②個人またはグループでテーマを決め、計画を構想している。 ③自らの目的や意図に応じ、課題解決のために必要な情報を吟味しながら集めている。 ④自らの活動を振り返り、次の活動のめあてをもっている。	⑤集めた情報から必要なものを選び出している。調べたことや友達との交流を基に、自分なりの意見や考えを深めている。 ⑥集めた情報を比較し、関係付けて、論理的にまとめている。 ⑦集めた情報を整理し、的確に表している。 ⑧目的や意図に応じて構成や発表の仕方を工夫し、効果的に発表している。 ⑨相手の考えと自分の考えを比べながら話を聞き、自分なりの考えをもっている。	⑩出会った人々やものとの関わりを大事にしながら、学習課題として受けとめようとしている。 ⑪課題解決活動を通して学んだことを、積極的に周囲に伝えようとしている。 ⑫友達との関わりの中で意見を交流し合い、楽しみながら学んでいる。 ⑬学習して学んだことをこれからの学習や生活に生かしていこうとし、ふるさとに愛着をもとうとしている。

2 授業内容（13時間／47時間）

学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
1.これまでの学習過程を振り返る。 2.本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 富士川舟運について学習してきたことを整理して、より追究したい課題を決めよう </div>	・フィールドワーク、博物館出前授業、親子活動を想起させる。	
3.富士川舟運について学んできたことを振り返る。 ・史跡名、キーワードを端的に振り返る。 4.「富士川舟運」に関する情報を整理・分析する。 ・3つの活動から得た情報を、関係性を考えながら、ウェビングマップに表す。  ・分類する、関連付ける、多面的・多角的に見る、比較する等、情報を可視化して整理する。 5.情報を共有する。 ・各グループで作成したウェビングマップを、お互いに見合う。 	・フィールドワークや学習会など、それぞれで得た情報・知識・体験を箇条書きで出させる。 ・グループごとに、ウェビングマップを作成する。 【ウェビングマップの書き方】 (1) 振り返りで出てきた言葉…黒ペン (2) 関連性のある言葉…黒ペンでつなぐ (3) 追加で出てきた言葉…青ペン (4) 人の思い…赤ペン ・ウェビングマップを教室内に掲示し、自由に見合う時間をとる。	⑥ ⑦

<p>6. 追究したい課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェビングマップを見ながら、さらに調べたい課題を考える。 <p>7. 1学期の学習を振り返り、自己評価を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定する課題は、複数あってもよいし、図に表されていないことでもよいこととする。 	①
---	---	---

3 評価（児童の自己評価及びウェビングマップからの評価）

児童 A

項目	◎・○・△	振り返りコメント
①富士川舟運に関心を持ち、進んで学習ができましたか。	○	富士川舟運について調べてみたいことをもつことができた。 <u>新しいぎもんができてよかった。</u>
②フィールドワークや出前授業で、富士川舟運について理解を深められましたか。	○	フィールドワークなどでした。カリメソをして、いろんぴことをまとめることができた。
③今後の学習課題（調べてみたいこと）を設定することができましたか。	○	高瀬舟のことについて調べていきたいと思った。

児童 B

項目	◎・○・△	振り返りコメント
①富士川舟運に関心を持ち、進んで学習ができましたか。	◎	特に高瀬舟のことに興味を持って学習できた。
②フィールドワークや出前授業で、富士川舟運について理解を深められましたか。	◎	よく話を聞いてメモをとることができた。御米蔵やヒモ綱石を実際に見るのが楽しかった。
③今後の学習課題（調べてみたいこと）を設定することができましたか。	◎	特に舟や人の工夫をしっかりと調べたいと思った。 <u>調べるのが楽しみ。</u>

〈評価①について〉

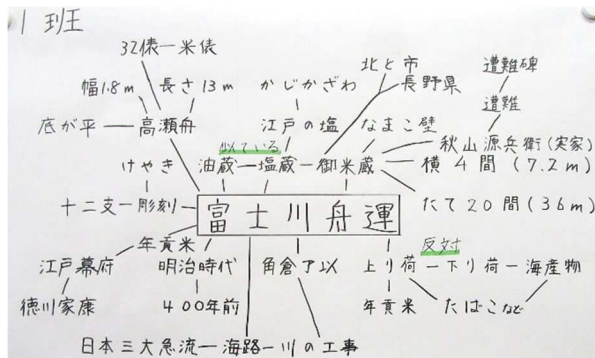
児童 A の記述には、「新しいぎもんができてよかった」と記されており、課題を発見した自分自身に気付くことができた。児童 B の記述には「調べるのが楽しみ」と記されており、学習を進める中で今までの知識とのズレが生じ、そこを調べることでさらに自分の知見を広げたいという前向きな姿勢が見て取れた。どちらについても興味・関心を深め、より詳しく追究してみたいと課題を設定することができた。

児童 C

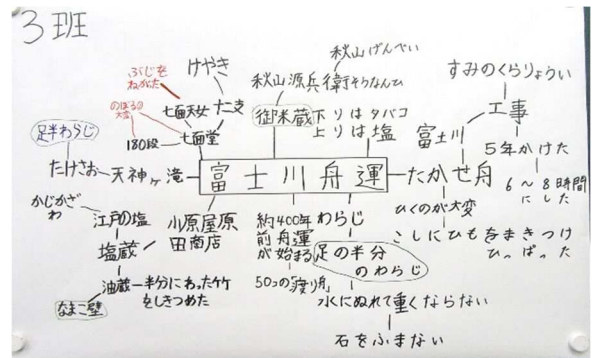
項目	◎・○・△	振り返りコメント
①富士川舟運に関心を持ち、進んで学習ができましたか。	◎	舟のことや御米蔵のことや油から、塩はなまこかべのことをしてよかった。
②フィールドワークや出前授業で、富士川舟運について理解を深められましたか。	◎	出前授業で話を聞いてみかひは米は二つのたいへんだったことがありました。
③今後の学習課題（調べてみたいこと）を設定することができましたか。	◎	<u>ふねの構造をしたらあんな大きな船が難破する理由をわかってほしい。</u>

児童 C はフィールドワークで「舟・御米蔵」に興味をもち、出前授業で「米を運ぶ大変さや舟の大きさ」を知り、今後は「舟の構造や大きな舟が難破する理由」を課題に設定した。知識が深まっていく中でさらなる疑問が生まれ、自分で調べてみたいとの思いをもつことができた。

D グループ



E グループ



〈評価⑥⑦について〉

D・Eグループは、話し合いの際グループ5人全員がそれぞれ意見を出し合い、何と何の関係しているのか、つながる言葉や関連するキーワードがあるかなど、お互いのワークシートを見て、関連性を考えながら言葉をつなげ、比較・分類してマップにまとめることができた。さらにEグループは、ウェビングマップにまとめていく過程で新たに出てきたキーワードや人の思いなどを書き加え、整理してまとめることができた。